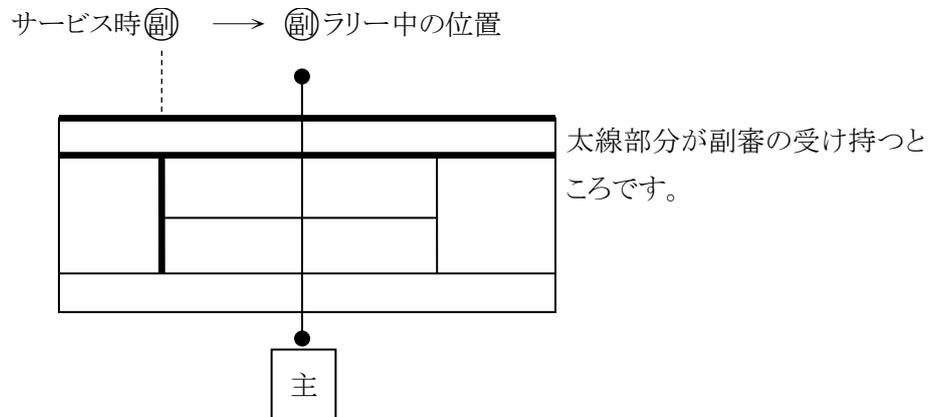


平成 30 年度 神奈川県中学校テニス大会 注意事項(団体戦)

1. 選手および引率教諭は、試合開始時間の 30 分前までに全員 (5 人以上) そろって本部に出席を届け、大会使用球を本部に提出してください。その際選手はプレーのできる服装に着替えていること。出席の届け出が遅れたり、届け出がない場合は出場できません。
2. 引率教諭の付き添いのない場合は出場できません。引率教諭は受付から試合終了までチームの監督・指導にあたってください。特に会場使用のルールは徹底させてください。
3. 試合に関して
 - 1) 試合前のウォームアップは 1 人サービス 4 本とします。コート外ではボールを使った練習はできません。
 - 2) 審判は主審 1 名、副審 1 名とし、原則として対戦校から 1 名ずつ出すこと。(原則としてドロー番号の早いチームが奇数試合 D1, S3, S1 の主審を受け持つこととする。)
 - 3) 試合着はえりのあるテニスウェア上下とする。Tシャツ、長そで、長ズボンでは出場できません。
 - 4) ダブルスは登録した 10 人中でのどの 2 人で組んでもよい。試合順序は D2, D1, S3, S2, S1 で行い、校内の実力順に並べる必要はない。対戦校により新しくオーダーを組みなおすことができる。
 - 5) 選手は最低 5 人で構成し、棄権ポイントがある場合には S3, S2 の順に欠くものとする。
 - 6) 本部からオーダー用紙を受け取り、あらかじめ記入しておき、本部より指示があり次第提出すること。
 - 7) 試合は 1 セットマッチ (6-6 後 7 ポイントタイブレーク) とする。初回戦は勝敗決定後もすべての試合を行うが、他の試合は勝敗が決定した時点で打ち切ることがある。
 - 8) ベンチコーチは 1 名とし、コートの定められた位置にいること。助言や指導はコートチェンジの時のみで規定の時間内に限る。選手はベンチコーチ以外の者から、いかなる助言や指導も受けてはならない。ベンチコーチは登録された選手か引率教諭に限られる。なおベンチ入りする引率教諭は 1 名とする。
 - 9) けいれんその他の自然的体力消耗による休息は認めない。応急処置が必要な場合はレフェリーの許可を受けること。勝手に選手がコートを離れることはできない。
 - 10) ボールの判定については審判に従うこと。カウント、ルールの解釈についての異議、質問は申し出てもよいが、選手およびベンチコーチに限る。
4. 審判について
 - 1) 審判は中立な立場に立ち、公正な判定をすること。
 - 2) 主審・副審とも責任をもって担当するラインの判定を行う。(副審は、下図の太線のラインの判定を受け持つ。オーバールールはありません。完全分担制) ラインに少しでもボールが触れていればイン(グッド)である。
 - 3) アウトの場合はハッキリと選手と観客に分かるように大声でコールする。副審は声のコールを必ず行

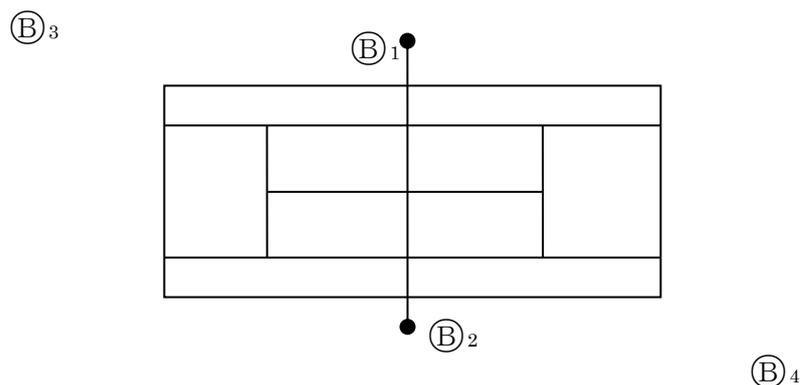
う。ジェスチャーをする場合は、アウト、フォルトにおいてのみ手を横に伸ばすことに限り行う。

- 副審はサービスの判定が終わったらポストの位置まで戻り、ボールパーソンのかげにならない位置に立つこと。



5. ボールパーソンについて

- ボールパーソンは、1コート4名以内で下図の位置につくこと。ボールパーソンはテニスシューズを持参すること。
- ボールパーソンは審判の判定(イン、アウト)については、たとえ審判から聞かれても答えてはならない。また、審判もボールパーソンに聞くようなことがあってはならない。
- ボールパーソンは応援することはできない。



6. 応援について

- サーバーが位置につこうとしたら、静かにプレーに注目すること。
- インプレイ中は音や声を出さぬようにすること。
- エースショットについては拍手や声援をして選手を盛りたてよう。
- 相手選手や相手審判についてとやかく言うこと(野次)は絶対にしてはならない。
- コート外からのアドバイスは禁止である。

- 6) 試合開始と終わりのあいさつの時は、起立して拍手でたたえよう。
- 7) 相手チーム選手のミスに対して拍手することは応援ではなく、恥ずべきことなのでしないこと。
- 8) 他コートの迷惑になる応援には制限をかけることもあります。

7. その他

- ・関東中学生テニス選手権大会出場予定数 男子団体 3、女子団体 3

大会使用球

ダンロップフォート(イエロー)

2 球入り缶

各校で用意し、出席確認時に本部に提出してください。

団体戦 5缶